

2007年度（平成19年度）事業計画

平成19年4月1日から

平成20年3月31日まで

世界各国から選抜した若手音楽家に対する世界最高水準のオーケストラ教育を軸にした教育の実施及びその成果の発表

寄附行為第5条第1号に掲げる事業は、次の計画により行う。

- 1 パシフィック・ミュージック・フェスティバル2007開催期間
平成19年7月7日（土）から8月1日（水）まで 26日間

- 2 参加アーティスト
 - (1) 首席指揮者
リッカルド・ムーティ
 - (2) 客演指揮者
フィリップ・ジョルダン
アンドレイ・ボレイコ
 - (3) PMF 芸術主幹
ペーター・シュミードル
 - (4) レジデント・コンポーザー
ヘルベルト・ヴィリ
 - (5) その他教授陣
PMF ウィーン、PMF ベルリン、PMF インターナショナル・プリンシパルズ、東京クワルテットほか

- 3 PMF アカデミー
 - (1) オーケストラコース ~ 募集人数 116名程度
 - [ア] オーディションの実施
ヨーロッパ、アメリカ、アジア、オセアニア及び日本の各都市でのライブ・オーディションとテープ・オーディションを実施して教授陣が審査し、選考する。
オーディション開催都市
ケルン、ベルリン、ロンドン、ウィーン、ボストン、フィラデルフィア、ニューヨーク、クレーヴランド、シカゴ、サンフランシスコ、ロサンゼルス、ソウル、香港、北京、台北、シンガポール、シドニー、

札幌、大阪、東京、名古屋の21都市

応募者 1,308名(平成19年1月19日現在)

[イ] アカデミー生に対する教育

オーケストラ・リハーサル

(オーケストラの練習。主に3つのプログラム(計11曲)を練習)

アンサンブルのコーチング、リハーサル

(教授陣の指導による、グループごとに割り当てられた室内楽曲の練習)

マスタークラス

(各楽器教授によるレッスン/各楽器約4時間から10時間まで)

(2) コンポジションコース ~ 募集人数 2名

[ア] 選考方法

アジアの国々の国籍を有する若手作曲家を対象とし、提出された作品の中から、レジデント・コンポーザーが譜面審査を行い選考する。

[イ] コースの内容

レジデント・コンポーザーがワークショップを行い、アカデミー生の自作曲をパシフィック・サウンディング演奏会で発表する。

(3) 弦楽四重奏コース ~ 募集人数 3グループ(合計12名)

[ア] 選考方法

弦楽四重奏団として活動し、プロを目指している若手グループのテープオーディションを実施して教授陣が審査し、選考する。

[イ] コースの内容

教授陣によるレッスン、各楽器のマスタークラス及び個人レッスン
教授陣とのリハーサル、共演など演奏会を実施

(4) 成果の発表

アカデミー生の練習成果は、オーケストラ、アンサンブル、弦楽四重奏等の形式により演奏会において発表する。

演奏会回数~オーケストラ9回、パシフィック・サウンディング1回、
アンサンブル10回(アンサンブルサンデー4公演を含む)、弦楽四重奏3回、アウトリーチ6回

世界最高水準の音楽家等による演奏会の開催

寄附行為第5条第2号に掲げる事業は、次の計画により行う。

1 演奏団体・ゲストアーティスト等

- (1) 世界のメジャーオーケストラ首席奏者らによるアンサンブルの編成(PMFウィーン、PMFベルリン、PMFインターナショナル・プリンシパルズによる編成)

- (2) 東京クワルテット
- (3) 札幌交響楽団 (指揮者 尾高 忠明)
- (4) フィルハーモニア台湾 (指揮者 ウェンピン・チエン)
- (5) P M F アカデミー生
(P M F オーケストラ・メンバー、P M F 弦楽四重奏コース・メンバー、
P M F コンポジションコース・メンバー)

2 開催都市等

- (1) 北海道内
札幌 (札幌コンサートホール、札幌芸術の森、大通公園ほか)、旭川、
函館、室蘭、苫小牧、奈井江
- (2) 北海道外 東京、名古屋、大阪
- (3) 公演回数
約 5 0 回

一般への音楽教育の公開その他の音楽の普及に関する事業
寄附行為第 5 条第 3 号に掲げる事業は、次の計画により行う。

1 聴講生プログラム

教授陣による P M F オーケストラへの指導の様子やリハーサル、ゲネプロ
(本番前の総練習) を一般に公開する。

定員 1 日当たり約 1 0 0 名

2 教育セミナー

全国の小・中・高校等の音楽教諭を始め、音楽教育に携わる方を対象とする
指導者向けのプログラムであり、会期中の 3 日間で、小学校での音楽教室
や参加アーティストによる音楽講座、演奏会鑑賞などを実施する。

定員 約 4 0 名

3 P M F 青少年のための音楽会

小中学生とその保護者を対象とし、分かりやすい解説等とともに、本物の
音楽に触れる機会とする。

1 回開催 (札幌)